

琵琶湖からはじまる滋賀の旅 湖上交通で広がる、滋賀ならではののおでかけスタイル

滋賀県では、例年 10 月下旬から 12 月初旬にかけて紅葉シーズンを迎えます。2025 年も、比叡山や湖東三山、琵琶湖周辺など各地で美しい紅葉が見頃を迎え、特に 11 月中旬から下旬がピークとなる見込みです。

関西地方の秋観光といえば「京都」が有名ですが、そのすぐ隣にある大津エリアは、観光客が比較的少なく、自然と文化をゆったり体験できる穴場です。JR や京阪電車でのアクセスも良好で、湖畔には三井寺や石山寺といった名所、温泉やグルメも充実しています。

そして滋賀ならではの「湖上交通」（＝琵琶湖上を運航する観光船・小型クルーズなど）は、移動そのものが観光体験に変わる特別な手段です。波の少ない琵琶湖では揺れも少なく、快適。秋風を感じながら船に揺られる時間は、まさに非日常の旅。観光船や新航路クルーズ、歴史的な疏水船まで多彩なラインナップが揃い、この秋のおでかけを特別なものにします。

湖上交通の多彩なラインナップ

■ LAGO クルーズ（2025 年 4 月就航）／琵琶湖浪漫クルーズ



LAGO クルーズ（写真左：一番丸）は、小型船による新定期航路として、観光と地域移動の両面で利用できるのが魅力。

琵琶湖浪漫クルーズ（写真右：屋形船四季）は、普段は見られない湖上から、浮御堂や琵琶湖大橋の真下を通過する迫力の航路。びわ湖の景観と歴史を一度に楽しめる人気の観光クルーズです。

<LAGO クルーズ>

- 運航区間：
 - 大津港 ⇄ におの浜観光栈橋（LAGO 大津）
 - におの浜観光栈橋（LAGO 大津）⇄ 草津烏丸半島港（琵琶湖博物館）
- 料金：
 - 大津港 ⇄ におの浜観光栈橋：片道 500 円（小学生以上）
 - におの浜観光栈橋 ⇄ 草津烏丸半島港：片道 大人 1,200 円、小人 600 円
- 運航日：土日祝（特定日一部運休あり。詳細は公式 HP を確認）
- 予約：予約不要（15 名以上は予約可）
- お問い合わせ：[LAGO クルーズ](#)

<琵琶湖浪漫クルーズ>

- 運航区間：おごと温泉港 発着
- 料金：大人 2,400 円、小学生 1,200 円
- 運航日：土日祝（詳細は公式 HP を確認）
- 予約：要予約
- お問い合わせ：[琵琶湖浪漫クルーズ](#)

■ 湖上タクシー



尾上港の漁師たちが、季節やその日の天候でおすすめのコースを案内する観光船。自転車ごと乗船も可能で、琵琶湖を自転車で1周する「ビワイチ」のショートカットに人気です。

- 運航区間：長浜市湖北町尾上港発着（季節や天候に応じたコースを漁師が案内）
- 料金：1,500／1 名（30 分）
- 運航日：荒天時休（不定休）
- 予約：要予約
- お問い合わせ：[湖上タクシー研究会](#)

■ ミシガンクルーズ／竹生島クルーズ



ミシガンクルーズ（写真左）は、赤いパドルが印象的な外輪船で南湖を周遊します。眺望はもちろん、楽しい音楽や多彩なお食事などが楽しめる、滋賀を代表する大型観光船です。

竹生島クルーズ（写真右）は、湖東の長浜港と湖西の今津港どちらからも乗船でき、パワースポット巡礼のほか、周辺観光と併せて、びわ湖を横断する湖上交通としても利用されています。

<ミシガンクルーズ>

- 運航区間：大津港発着
※ 柳が崎湖畔公園港（びわ湖大津館）、におの浜観光港（びわ湖大津プリンスホテル）は、予約がある場合に寄港。
- 料金：コースにより異なる（例：60分クルーズ 2,600 円／おとな 1 人）
- 運航日：毎日運航（時期により便数が異なる。詳細は公式 HP を確認）
- 予約：予約不要（船内で食事をする場合は要予約）
- お問い合わせ：[琵琶湖汽船](#)

<竹生島クルーズ>

- 運航区間：長浜航路（長浜港～竹生島港 往復）、今津航路（今津港～竹生島港 往復）、びわ湖横断航路（今津港～竹生島港～長浜港）の 3 区間
- 料金：長浜航路（3,600 円／おとな 1 人）、今津航路（3,200 円／おとな 1 人）、びわ湖横断航路（3,400 円／おとな 1 人）
- 運航日：毎日運航（時期により便数が異なる。詳細は公式 HP を確認）
- 予約：予約不要
- お問い合わせ：[琵琶湖汽船](#)

■ オーミマリン



信仰の島である竹生島や多景島をめぐる観光船。彦根駅から無料シャトルバスも利用できます。お正月には、竹生島までの「初詣船」など特別運航も実施しています。

- 運航区間：彦根港～竹生島・多景島
- 料金：コースにより異なる（例：竹生島航路 往復 3,500 円／おとな 1 人）
- 運航日：毎日運航（一部コースは運航日が異なる。12 月 1 日～2 月末は冬季ダイヤのため一部運休あり）
- 予約：要予約
- お問い合わせ：[オーミマリン](#)

なぜ滋賀で湖上交通が発展したのか？

鉄道網が整う以前、琵琶湖の湖上交通は、陸路よりも効率的でスピーディーに物資を運ぶことができた重要な手段でした。

中世には織田信長が琵琶湖の水運を重視し、築城や港の整備を進めたと伝えられています。

さらに明治時代には、京都と滋賀を結ぶ琵琶湖疏水を通じて、物資の輸送が盛んに行われていました。

その名残は、今も県内各地に受け継がれています。

たとえば、国内で唯一“湖の上で人々が暮らす島”である沖島と対岸を結ぶ「航路沖島通船」は、湖上交通の歴史を今に伝える大切な存在です。

湖上交通を使って、この秋こそ行きたいおすすめ回遊スポット 3 選

① LAGO 大津



2025年3月24日(月)にオープンした、和菓子舗たねやが手掛ける新店舗。琵琶湖を一望する和菓子のショップには工房とカフェを併設し、焼きたての「たねやカステラ」や季節の和菓子が楽しめます。また、敷地内には多様な木を植え、近江の里山の自然に習い、豊かな森を育んでいます。LAGO 大津には船で行き来することもでき、クルーズ前後に立ち寄れば、食・自然・船旅がつながる特別な時間に。湖を間近に感じながらくつろげるテラスもあり、大津観光の新定番として注目を集めています。

②三井寺（大津市）



滋賀を代表する古刹で、比叡山延暦寺と並ぶ天台寺門宗の総本山。国宝・重要文化財を数多く有する境内は、秋になると一面が紅葉に染まり、特に観月舞台や観音堂からの眺望が人気です。2025年は11月8日（土）～12月7日（日）まで「秋の特別拝観」が実施され、通常非公開の文化財や紅葉景観をあわせて楽しむことができます。歴史と自然が調和する空間で、湖上交通と組み合わせた滋賀ならではの紅葉体験が叶います。

③おごと温泉



開湯 1200 年の歴史がある温泉地で、琵琶湖を一望できる露天風呂や宿泊施設が充実。湖上交通の寄港地でもあり、クルーズ後に温泉でくつろげるアクセスの良さが魅力です。

カップルや家族連れに人気の宿泊旅館から、日帰り入浴可能な施設まで揃い、観光の合間に立ち寄りやすいのも特徴。秋の紅葉シーズンは湖畔の自然と温泉で、心身ともに癒されるひとときを過ごせます。